

MEIJI MURA

明治村だより

2021 Spring

Vol.102



CONTENTS

明治村の建築にみる
日本近代青春群像物語 …02

A La Meiji-Mura

ゆるやかな境界 …10

五つ玉から四つ玉へ 一算盤にみる近代化 …11

博物館明治村 協賛会員 募集案内

博物館明治村では、歴史的建造物の修繕や展示など村内整備の充実を図るため広く皆様のご支援を募っています。

- | | | |
|---|--|--|
| <p>1. 法人会員の種類と会費 (各1口あたり、消費税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般会員 10万円 ○ゴールド会員 100万円 | <p>3. 会員期間</p> <p>入会日より1年間
(入会月の翌年当月末日まで)</p> | <p>5. 問い合わせ先</p> <p>公益財団法人明治村 協賛担当
住所: 〒484-0000
愛知県犬山市字内山1番地
TEL: 0568-67-0314
E-mail: meiji-info@nrr.meitetsu.co.jp</p> |
| <p>2. 会費の用途</p> <p>明治村で展示・保存されている建造物の修繕や、村内の整備など公益目的事業費に充てさせていただきます。</p> | <p>4. 会員の特典</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会員証(記名式)の発行 ○招待券の贈呈 ○刊行物等の贈呈 ○芳名の掲示 ○法人名の銘板付きベンチの設置 (ゴールド会員のみ) | |

協賛会員 (令和3年1月31日現在)

敬称略:五十音順

ゴールド会員

大成建設株式会社 矢作建設工業株式会社

一般会員

アイカ工業株式会社	株式会社アイチケン	アサヒ飲料株式会社	アサヒビール株式会社
株式会社アシスト	厚見建設工業株式会社	株式会社安藤・間	株式会社磯部組
株式会社伊藤園	伊藤忠商事株式会社	因幡電機産業株式会社	株式会社魚津社 寺工務店
株式会社エイムクリエイツ	株式会社NTTドコモ	株式会社NTTファシリティーズ	株式会社大塚商会
株式会社大林組	岡谷鋼機株式会社	株式会社オノコム	鹿島建設株式会社
株式会社関電工	キリンビール株式会社	株式会社熊谷組	株式会社鴻池組
コクヨマーケティング株式会社	五洋建設株式会社	株式会社ザイマックス	サッポロビール株式会社
佐藤工業株式会社	三幸エステート株式会社	サントリーコーポレートビジネス株式会社	株式会社シーイーテック
柴山コンサルタント株式会社	清水建設株式会社	株式会社新高土木	株式会社スペース
株式会社銭高組	株式会社扇港電機	ダイキン工業株式会社	大興建設株式会社
大成ユーレック株式会社	ダイドードリンコ株式会社	大日本印刷株式会社	株式会社竹中工務店
株式会社谷澤総合鑑定所	株式会社丹青社	中京テレビ放送株式会社	中部スターツ株式会社
鉄建建設株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	東洋電機製造株式会社	戸田建設株式会社
飛鳥建設株式会社	名古屋トヨペット株式会社	一般社団法人ナゴヤハウジングセンター	西日本電信電話株式会社
西松建設株式会社	株式会社日建設計	日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社	能美防災株式会社
株式会社長谷工コーポレーション	ビジネスコミュニケーション株式会社	株式会社日立製作所	株式会社ファミリーマート
株式会社フジタ	株式会社不動テトラ	ホーチキ株式会社	ポッカサッポロフード&ビレッジ株式会社
前田建設工業株式会社	三井住友海上火災保険株式会社	三井不動産株式会社	三井不動産ビルマネジメント株式会社
三菱商事株式会社	三菱電機株式会社	三菱ふそうトラック・バス株式会社	名高土木株式会社
名鉄EIエンジニア株式会社	名鉄環境造園株式会社	名鉄ビルディング管理株式会社	株式会社森本組
株式会社ヤシマキザイ	ユーシーシーフーズ株式会社	リコージャパン株式会社	株式会社ローソン
若松物産株式会社			

表紙について 新緑の中/撮影:荻野直敏
蒸気機関車12号 イギリス シャープ・スチュアート社 輸入:明治7(1874)年

「明治村だより」第102号(令和3年 春号) 令和3年3月19日発行

発行 博物館明治村 〒484-0000 愛知県犬山市内山一丁目 電話(0568)67-0314 <http://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」 発行時期 令和3年7月中旬予定
第103号発行のお知らせ 申込方法 「明治村だより」第103号ご希望の旨およびご住所・お名前を明記の上、送料(含発送手数料)140円とともに現金書留にてお申込みください。

近代をつくった建築と青春群像物語のはじまり

明治村は青春のステージでありたい

館長 中川武

一 記憶を戻そう、 明治（物語のはじまり）へ

二〇二〇年〜二一年は博物館明治村もまた未曾有の困難の中にあつた。明治村は基本的には野外博物館なので、新型コロナウイルス感染のリスクは低く、さらに徹底的な感染防止対策も取ってきたが、残念ながら全般的な自粛ムードのため来村者が激減した。特に緊急事態宣言発令中は県をまたぐ移動が制限されたことにより、運営にも支障をきたした。このような環境の中で、WEB上での村内の動画配信など、博物館明治村としてできることは試みてきた。

このコロナ禍は世界中を巻き込んだ同時巨大災害として懸命な努力がどこでも続けられてきた一方で、誰もが何かを始めなければならないと考え始めたように思う。それは何だろうか。世界は一変してしまつたと多くの分野で語られたが、何が変つたのだろうか。疫病による大パンデミックは歴史上何度も人類を襲っている。一三四年のペストは黒死病と呼ばれ、ヨーロッパ人口の1/3を死に至らしめ、暗黒の中世界のイメージのもと

なつたともいわれている。それに比べるとコロナ禍はまだ可愛いものだ、と私は言いたいわけではない。人々の情報の移動がつかつてとは比べものにならない程のスピードと広範囲の現代において、人から人へ感染するコロナ禍は不気味な恐怖をもたらし、自粛し、生活様式を変えなければというわけである。しかし不要不急の外出自粛によって、現在、世界が直面しているこの巨大な災害を乗り越えるのだろうか。ワクチンが間に合つて免役がつかば解決するのだろうか。勿論誰もが解決を願っている。しかし、コロナウイルスの変種、変異株という意味ではなく、別の新しいウイルスが次々と生まれてくる可能性について考えなければならぬ緊急事態に陥っているのではないだろうか。

歴史上の天然痘、ペスト、結核、そしてスペイン風邪などは、確かに大パンデミックであつたが、かつては医学や衛生状態は今とは比べものにならないが、一応それらは克服されたといえるのである。今回のコロナ禍もいずれ克服されるであろうが、それは別に現在の事態はこれまでとは全く異なるのではないだろうか。十四世紀に多くの人がペストで亡くなつたこ

とは必ずしも自然とは言えない。またかつては驚くほど寿命が短かつたことを自然とするかどうかは微妙なところである。しかし大地震は自然に起こるが地球温暖化は自然ではない。津波で命を落とすことも自然ではない。

かつては想像もできなかったような人間関係や社会的事件が特に勃発することと、SARSや鳥インフルエンザや狂牛病やコロナウイルスが頻発するのは同じ原因からではないだろうか。それは三密を避ける新しい生活様式を守っていればよいのではなく、限度を超えて自然から離れすぎたために起きることではないだろうか。自然も危険に満ちている。しかも自然の循環という秩序に支えられた人間の生命、倫理、文化は、そこからステツプアップして効率化を推し進めざるをえない。やがて、あまりにそこから離れすぎると菌止めのきかない、思つてもいない突然変異を生み出すのではないだろうか。だからといって原始の自然に戻れるわけではないし、それが良いわけではない。

要は、自然と近代的文明とのバランスである。両者の調和を求め、激しく泡だつた時こそ、明治という時代であつた。つまり、明治

十五〜十六世紀に戦国の世から中央集権化を目指した織田豊臣政権は、刀狩りによる兵農分離、楽市楽座をはじめとした生産流通の合理化と国際化を劇的に推し進めた。この時代に今でいう規格商品のようなものが全国に出回つたのである。土地と血縁に結びついていた封建社会からの脱却である。徳川幕府はこの流れに乗りつつ、一方では、政治倫理や文化など、人間社会の上部構造を封建制、下部構造を合理的近代化とする二重性を長年やり繰りした、世界的にも珍しい国家社会体制であつたといえよう。

しかし江戸時代末期になると、鎖国や身分制度などの制約がつつちもさつちもいかなくなり、黒船来航が一つの契機となつて江戸時代は終わり、西洋近代化すなわち国際化が始まつた。西洋列強の進出に対抗し、日本が植民地化されないように、素早く富国強兵化を進め、日本自らが列強化するべくである。

一方、当時西洋諸国は、資本主義的な強固な近代経済システムの競争力を備えていた。それに対抗するには、日本は着実な社会全体の近代的発展を待つのではなく、和魂洋才とばかりに、資本主義的経済の土台の上に、日本古代からの天皇制を核とした統治文化システムを頭にかぶせて国家社会の強固な一体化を図つた。

したがって明治という時代の目標や西洋へのあこがれは、きわめて多様であり、ある意味では矛盾を孕んだ、複雑なものとならざるをえなかつた。これが近代日本の曙の姿である。

三 建築もまた時代と社会をつくる

鵬外や漱石が住んだ住宅はそれだけで興味深い。帝国ホテルを設計したフランク・ロイド・ライトは今も世界的に注目されているア

メリカ人建築家である。建築は固有の人々の生活の舞台でありその社会と時代の経済、技術、文化、精神の反映であり、象徴である。それは間違いないが、人知れず作られ、無名の人々が使い、住んだ、建築や街が結果的に新しい時代の空間像や空気感を作ることがあることも否定できない。すなわち建築もまた社会を作るのである。物を見たり、考えたり味わうのはこの両方向にかかわることである。建築の長い歴史がどのようにして、明治という時代にまでたどり着き、それと向き合い、その下支えをしたのかについて大まかなアウトラインを描いておきたい。

六〜七世紀の飛鳥奈良時代に、中国大陸から朝鮮半島を経由して高度な古代中国大陸建築様式が伝来した。それまでの日本在来の竪穴や高床建物などは格段の形式的及び技術的格差があり、支配者の建築様式として、例えば法隆寺等が古代国家体制のもとに作られ、中心的な大工技術が保持されていった。九世紀頃までは中国大陸、朝鮮半島、日本はほぼ同時併存的な古代建築様式の様相を示すが、その後日本ではより内向的な国風文化の傾向を強め、構造的な合理性よりも、流麗な形式美的洗練度を高めることになった。この性格が十二〜十三世紀に中国大陸宋様式の刺激により、一旦構造的合理性を強めることになった。

しかし、すぐに十世紀以来の日本の伝統的様式（和様）との折衷、融合を重ね、日本建築の全体姿・形と部材や細部などの部分、内部と外部そして構造と装飾などの対比が、両者の調和した中世的建築様式と技術として形成されることになるのである。

この様式と技術、そしてそれを支える大工組織は、高い加工技術と設計能力に支えられ、上流建築に限れば地方の隅々まで、質の高

時代は日本の歴史上の青春時代だつたと言える。

二 近代日本の曙

一八五三年黒船来航により、徳川三百年の安眠の夢を覚まされた日本は、坂本龍馬や渋沢栄一ら青春群像の奮闘により、中央集権国家による文明開化の道に進出したとするのがわかりやすい日本の近代化である。確かに蒸気機関で作つたり、汽車で移動したりすることが近代文明の基礎とするならば、日本

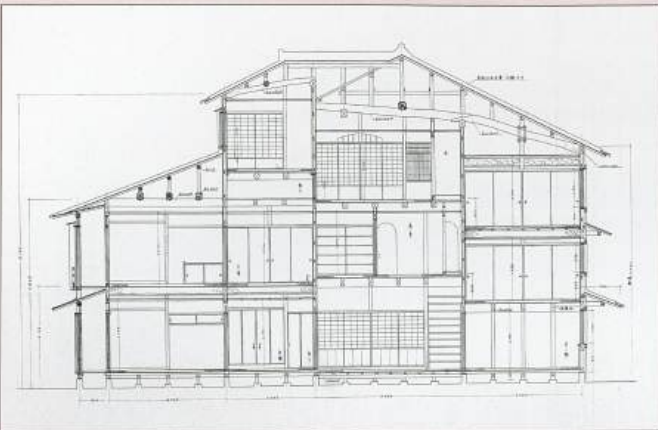


新橋留蒸気車鉄道局停車館之真図 歌川広重(三代)画 明治12(1879)年



東松家住宅(重要文化財) 外観 建設:明治34(1901)年頃

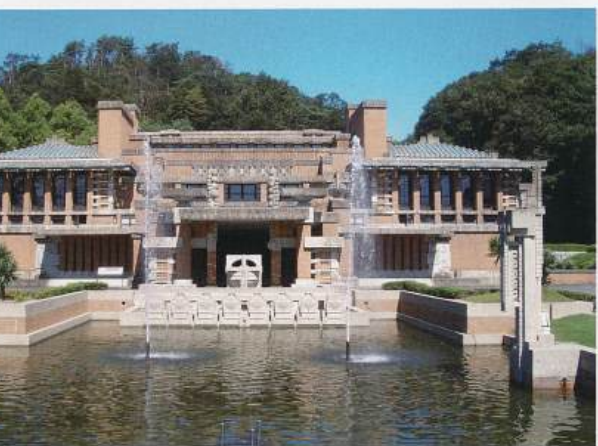
の近代化の始まりは明治である。しかし近代を測る「ものさし」はそれだけではない。



東松家住宅(重要文化財) 縦断矩計図



西郷従道邸(重要文化財) 建設:明治13(1880)年



帝国ホテル(登録有形文化財) 中央玄関 建設:大正12(1923)年

第四高等学校物理学教室 展示リニューアル



開村55周年および第四高等学校物理学教室（登録有形文化財）建設130年を記念して、同建物内の展示を一新し、公開部分を拡充して、1月16日（土）リニューアルオープンしました。博物館明治村の設立者である谷口吉郎氏（建築家、初代館長）と土川元夫氏（元名古屋鉄道株式会社会長）を顕彰する



展示室と併せて、昨年6月に交流協定を結んだ谷口吉郎・吉生記念金沢建築館の所蔵資料の展示コーナーを設けるなど、大きくリニューアルしました。さらに初公開となるドラフトチャンバー（ガス強制排気装置）付き用意室を含め、全部で5室を公開しています。

【第67回文化財防火デー】
犬山市消防本部と合同訓練を実施



文化財防火デー（1月26日）にちなみ、1月28日（木）、犬山市消防本部と明治村自衛消防隊は合同で消防訓練を行いました。本訓練は、火災などの災害から貴重な文化財を守るとともに、お客様の安全を図るため、適切な通報・連絡、初期消火、避難誘導体制の確立を目指した訓練です。

訓練は、当館が保存する東松家住宅（重要文化財）からの出火を想定し、実際に火災報知ベル鳴動・村内放送・発煙発火装置作動を行い、明治村自衛消防隊20名と犬山市消防本部が合同で一斉放水を行いました。

文化庁公募事業
「文化芸術収益力強化事業」に参加

文化庁から受託しているヤマハ株式会社の事業に参加して、オンラインツアー実施（2月6日・7日）、多言語音声ガイド製作（帝国ホテル中央玄関・西園寺公望別邸「坐漁荘」）、多言語アーカイブ動画配信（博物館明治村紹介・帝国ホテル中央玄関）、明治偉人隊ライブ配信（2月14日に2回公演）を行いました。

「明治村のひなまつり」展

3月3日（水）は桃の節供、女子の健康と幸せを願う雛祭りの日です。博物館明治村では2月13日（土）より4月初旬まで、三重県庁舎（重要文化財）1階の展示室にて、「明治村のひなまつり」展を開催しています。当館にご寄贈いただいたおよそ8,000点の郷土玩具から、日本各地の土製の雛（土雛）を選びすぐって飾っています。



夕映えの聖ヨハネ教会堂 撮影：梅田光典

い建築を生み出す原動力となった。中世までは生産現場といえども身分制と特権性に縛られていたのである。それを打ち破ったのが、戦国大名の下での大工頭による大工組織の統率と、多くを感性的経験の修練に頼っていた大工設計能力が木割術の発展によって客観的な設計技術化したこと、そして大工道具や規格木材の商品流通等々による建築技術を平準化と解放したことである。

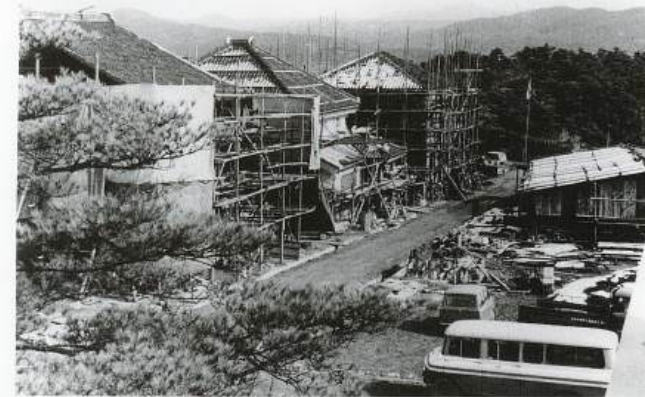
四 楽しさの手ごたえ

十九世紀には、日本人の誰もが見ることが出来なかった。伝統的の大工が見れば、真似て西洋風を自ら工夫したり、建築家を兼ねた宣教師の指導の下で作るなど、明治を迎え撃つ形はいろいろあり、多様な展開の潜在力がそこにあったのである。

緑の木々に緑のトンがり屋根のゴシック様式の教会堂は西洋へのあこがれを表象したものであるが、これまで見てきたように、その憧れは一筋縄ではいかない奥行きがあり、時にはこの写真の背景にある夕焼け空のように、劇的な当時の日本の国際関係を暗示するものであった。

長い和風住宅の歴史の中に、どのようにして西洋化や近代化が取り入れられたのか、博物館明治村は初期の西洋貴族住宅から始まって様々なタイプの和洋折衷住宅の変容のプロセスを見ることが出来る。一方で、西洋様式の影響が全くなしに、都市の高密化などの環境変化によって日本の伝統的木造住宅が独自に近代化した姿も見ることが出来る。博物館明治村では実に多種多様な建築タイプが存在している。この多様性こそ、野外博物館として世界的にも稀有なものである。

激動の明治という時代を表象するために、博物館明治村がそれにふさわしい建物を選んで移築展示しているわけでは決してない。すでに解体されて保存されていた建築部材と、放っておけば消失の危機にあった建築取り壊しのニュースに対して明治村建築委員会の調査によって移築保存を取り決めた建築たちであった。全部受け身ではないが、基



開村前、2号地移築工事の様子

本的には無くなってしまったかもしれないものを、改善の策として移築保存してきた建物たちである。

幸い入鹿池畔の敷地は変化にとんだ豊かな自然に恵まれている。原則としてオリジナルな敷地環境の再現を目指してきた。明治期の都市、住宅環境、そして明治国家の基盤整備や殖産興業、都市交通の背景の中で、様々な展示の工夫をしながら、建物の歴史と対話していただけるように工夫されている。

多くの人たちに来村していただきたい博物館であるから、明治村ならではの食べ物、グッズ、謎解きゲームなどのエンターテインメントなどにも、もつと注力しなければならぬのは当然である。コロナウイルスにより引き起こされたパンデミックが強烈かつ深く私たちに訴えたことは、否応なく世界の内に、人類の歴史の一コマとして私たちが生きていく、



卒業旅行 撮影：久保明人

ということである。そこから、そしてそこに到達するためには私たちはこの国とその歴史に向き合わざるを得ない。

自然と文明・伝統と近代、そして親和性に包まれてあることと憧れへの意欲の間の激しい交錯が人生の青春であるとすれば、日本の歴史の上で言えばそれは間違いなく明治という時代である。これから青春を迎える人はぜひとも、すでに青春は過ぎ去ったと感じている人は何度でも青春に立ち返って欲しいと思う。青春は生涯消えることがない。そして青春は知識や言葉ではなく、明治という時代が抱かずにいられなかった憧れであり、苦悩や工夫であり、喜びであったはずである。それは建築、都市やそれらの佇まいやそれらが生み出す空気感として私たちの前に立ち現れる。それらに触れ、感じた手ごたえこそが楽しさというものの根底である。

これから博物館明治村の建物とそれを支えた人々の物語を通してその楽しさを探求していきたい。



名鉄岩倉変電所の リニューアルオープンに向けて

5丁目66番地に建つ名鉄岩倉変電所は、令和元(2019)年7月より進めていた耐震補強を含めた保存修理工事を終えて、リニューアルオープンを迎えます。

大山線の変電所として、岩倉駅構内に建てられました。建物は、軒高が高く、一方の表面に大きな出入口を設け、両側面に縦長の開口部を連続して配していることが特徴です。縦長の開口部には、上げ下げ窓が収められており、上げ下げ窓上部、出入口上部には、半円アーチの欄間窓が設けられ、御影石の要石、人造石研出仕上げの窓台とともに立面をまとめています。また、建物四隅には、小さいながらもバットレス(控壁)が付く、建物の安定感を与えています。特筆すべきは、壁面の煉瓦の使い方であり、四または五本の褐色の帯状部分に使われた塩焼き煉瓦が、壁面の意匠に変化をもたらしています。加えて、背面となる妻壁は、欄石や窓台石を設けた窓様の凹みに碍子(がいし)を配し、建物の機能上必要となる部品が意匠に巧みに組み込まれ、これが立面の特徴をなしていました。建物は、昭和四十九(一九七四)年に解体され、翌年当館に移築されました。この際、建物の構造は、煉瓦造から鉄筋コンクリート造に変更されましたが、煉瓦の意匠をタイル張りとして復原すること、外観の意匠は忠実に再現されました。(写真1・写真2)

修理事業としては、まず平成二十九(二〇一七)年に耐震診断を実施し、令和元(二〇一九)年七月に保存修理工事に着手しました。修理工事内容は、屋根天然スレートの葺替え、外壁タイルの劣化部分の貼替え及び浮き上がり部分のアンカーピンニング、耐震補強鉄骨梁の設置及びトラス陸梁端部の補強、上げ下げ窓の作り替え、外部及び内部木部の塗装、老朽化した各設備の更新など多岐にわたりました。

なお、本修理工事において、建物の維持管理・活用上、以下の変更を行いました。すなわち、①天然スレート葺からステンレス鋼板葺への屋根葺材の軽量化、②外部東面でのスロープ設置、東面の上げ下げ窓の腰壁一方所の解体撤去及び出入口への変更、③空調設備の導入、④正面出入口内部の風除室、側面内部の配管を隠すベンチの新設です。

この他、建物両側面の内壁の仕上げを白漆喰仕上げから、劣化した漆喰壁を撤去した際にあらわれた、下地壁であるモルタル塗仕上げとして変更しました。

はじめに

日本の鉄道事業は、明治五(一八七二)年に新橋・横浜間を走った蒸気機関車から始まります。明治二十八年、京都電気鉄道に電気機関車が導入されると、動力は、次第に蒸気から電気へと変わっていきました。

名古屋においては、名古屋鉄道株式会社前身である名古屋電気鉄道により、明治三十一年、日本で二番目の市内電車が名古屋市内に開通、その後、尾張地区に路線を伸ばし、大正元(一九一二年)には犬山線が開通されま

した。変電所は、電車への給電のために必要不可欠な施設です。当時は輸入された高価な変電機器を収容することから、その多くは堅固な煉瓦造の建物として建てられました。今日、明治・大正期の鉄道施設としての変電所は、現存する事例が少なくなっていますが、その中でも名鉄岩倉変電所は、往時の姿を留めた好例として捉えることができます。

一 建物の概要

この建物は、明治四十五年、名古屋電気鉄道

二 修理工事の内容

修理前、この建物では、軒廻り及び妻壁の壁体頂部パラペツト部からの浸水による外壁タイルの浮き上がりや、パラペツト部モルタルの剥落劣化が問題となっていました。建物内部は、小屋組トラス陸梁の端部の腐朽、軒廻りや窓廻りからの建物内部への浸水が深刻であり、長



写真1 解体前写真



写真2 解体前写真(背面)



写真3 修理前南東より見る

また、軒廻りは、屋根の軒先を延ばし、修理前には壁体頂部に埋め込まれていた軒樋を、樋受け金物により壁面より持ち出して取り付ける形状とし、建物と軒樋の縁を切る改良を加えました。(写真3)

屋根葺替えに伴い、天然スレートを解体した際、野地板の半分程度が、創建当初の部材であることを確認しました。創建時の野地板の中には、当初の煉瓦積やアーチの原寸を描いた墨線の痕跡が残るものが三枚発見されました。これらは、あらかじめ野地板として使用することになっていた長い板を、まず壁の煉瓦を積み上げるための定規板として用いた痕跡と考えられます。当時の煉瓦積の施工方法を知ることが貴重な資料といえます。(写真6・写真7)

えをよくするために、小屋組を照らし出す照明を鉄骨補強梁上部に配しています。また、浸水により端部が腐朽していたトラスの陸梁は、鉄板補強とともに継木修理を行いました。(写真8・写真9・写真10)

④ 縦長の窓
建物の特徴づけている縦長の開口と欄間アーチを備えた西面の五カ所の縦長窓からは、帝国ホテル中央玄関、高田小熊写真館などの切り取られた建物の風景を見ることが出来ます。(写真11・写真12)

三 建物の魅力と修理のポイント

① 耐震補強鉄骨梁

今回の修理では、内壁の上部四周に廻らされた鉄骨梁によって耐震補強をしています。補強鉄骨を目に見える形で設置することについて、修理計画段階において議論を重ねましたが、鉄骨梁に、照明器具とブラインドカーテンを取り付けることで、単なる補強梁としてではなく、機能を備えた補強梁としています。補強梁の形状は、見付け面を斜めにし、薄灰色の色調とともに、既存の壁面と調和させることを意図しました。(写真4・写真5)

② 創建当初の野地板

写真4 耐震補強鉄骨梁の取付け



写真4 耐震補強鉄骨梁の取付け



写真5 竣工後内部空間

③ クイーンポストトラス

建物に入り、上部を見上げると小屋組の構成を見ることが出来ます。クイーンポストトラスとして組みまれたトラス組が六連で並ぶ姿は圧巻です。本修理においては、トラス組の見栄



写真6 天然スレート解体後野地板の状況



写真7 煉瓦積層寸を示す墨線



写真8 トラス陸梁端部の修理



写真9 トラス陸梁端部の修理



写真10 トラス陸梁端部の修理



写真11 竣工後内部より西面を見る



写真12 竣工後内部(出入口を見返す)

⑤ 塩焼き煉瓦

外壁に廻る褐色の帯状部分に使用されている

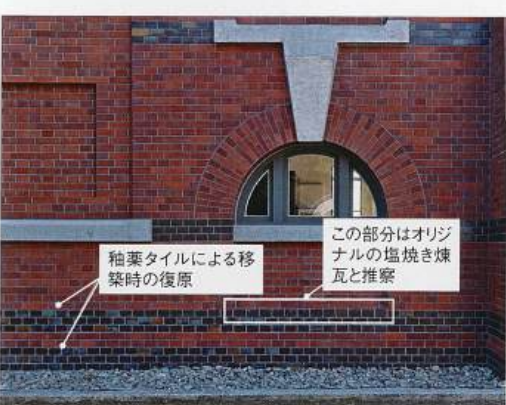
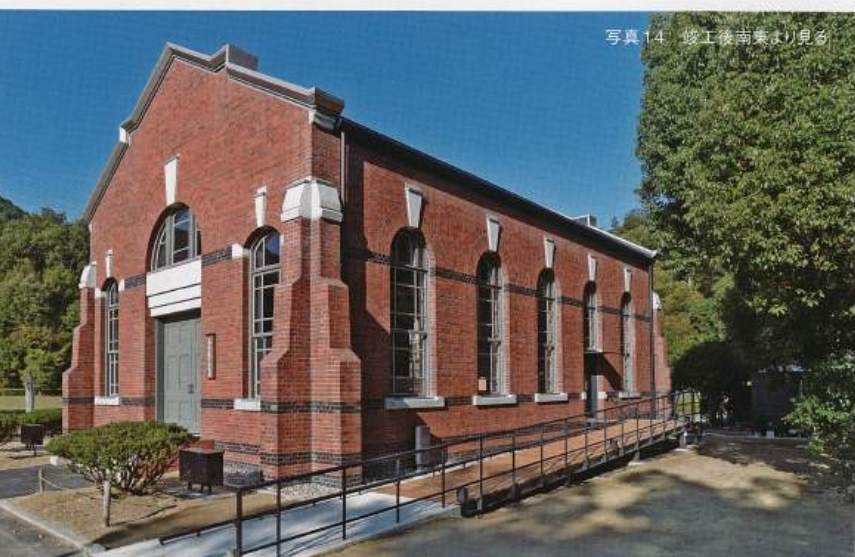


写真13 竣工後北東隅を見る

た塩焼き煉瓦は、移築時に塩釉系のタイルにて復原されています。しかし、建物背面の腰高に配された半円アーチ窓の窓台下方には、移築時に補完されたタイルとは異なる塩釉系の煉瓦が使用されており、この部材が、創建時に使用された当初の塩焼き煉瓦ではないかと推察しています。(写真13)

以上、五つの見どころポイントをご紹介いたしました。名鉄岩倉変電所は、今後、多目的空間として活用してまいります。建物の魅力は、この他にもまだまだありますので、ぜひ訪れていただき、隠れた魅力を発見いただければ幸いです。(写真14)

写真14 竣工後南東より見る



謎解きアトラクション 明治探偵GAME

オワリノハジマリ 3.6Sat.→7.18Sun.

千里を見通す真眼は、やがて潰える

舞台は明治時代とある探偵社。そこに舞い込んできた奇妙な依頼から事件は動き出す。能力を失いかける「千里眼探偵」こと不知火奇十郎と、その助手ちふねは、迫りくるオワリを感じながら、明治の世の難事件に挑む。さあ、最後の事件解決はどうか。

STORY

時は明治時代——江戸の世が終わり、新たな時代の節目を迎えた日本では、時代の転換期を象徴するような、奇々怪々とした事件が日々巻き起こっていた。そんな明治の世において、狭く間に訪れた変化の波に「オワリ」が見え始めたころ、ある男にとっても重大な「オワリ」が訪れていた。一時は社会現象となり、日本中でその名を聞く存在となった「明治探偵社」。その所長であり「千里眼探偵」こと不知火奇十郎は、己の持つ特殊な超能力で数々の難事件を解決してきた。しかし、突如現れた謎の盗賊ゲンゴウの策略により、奇十郎の能力に異常が生じる。思うように能力を発揮できない探偵の姿に、世間に疑いの目が広がっていった。「もしかして、千里眼探偵はペテン師だったのか？」高まる不信感。その裏で暗躍する怪盗ゲンゴウと巨大財団の影。すべてを失いかける若き探偵を支えるのは、助手の少女「ちふね」であった——。

「依頼書」は6コース! さあ、どの事件から解決しようか。

- W オツカイノハジマリ** 難易度 ①②③④⑤ 300円
小学生向けのコース。学年のみんなはお父さん、お母さんといっしょに挑戦!
- 志 届かぬ深層の思考** 難易度 ①②③④⑤ 600円
明治村の謎解きは初めてという方に最適!
とある嵐山会社と地域住民との間で勃発した公害訴訟。契約書を送って押し問答になっているという事件解決の協力を依頼され、関係者にテレパシーを使うも、能力が上手くいかず苦戦する奇十郎だった——
- 式 結ばぬ観念の写像** 難易度 ①②③④⑤ 600円
明治村の謎解きに何度も挑戦したことのある方にオススメ!
列車に置き忘れられた手帳。そこには謎の暗号が……。何が書いてあるのかさぐさとするも、想像を思う様に捉えられない奇十郎は、己の推理力に頼るはかなかった——
- 参 定まらぬ未来の事業** 難易度 (クイズ特典付) ①②③④⑤ 800円
「難しい問題と見えるという方はコチラ」
ある人物が「数年前に都庁を巨大な地震が襲うと突如新聞で発表し、荒唐無稽な予知まじりの記事」には混乱するも、警察はデマ情報だと思っているようだが——

5.8 Sat. 始動!

- 四 在らぬ万象の記憶** 難易度 ①②③④⑤ 1,200円
依頼書 もクリアした方が挑戦できるコース。
日々一丁目で働き終り事件が発生。思いがけない人があつたが、犯人逮捕が急がれる。現場に残された証拠品の残照を思いから特定を試みるも、そこには超能力を妨害する仕掛けが……。
※最終日には、解決が押された依頼書 ⑥が必ずです。
- 伍 見えぬ千里の真眼** 難易度 ①②③④⑤ 1,200円
依頼書 クリアに要する時間は計り知れない。
信濃ケンゴウの策略により、公開実験を受ける羽目になった奇十郎。その能力が本物か、大学階段で実験が行われることになった。もはや能力が限界を越えていた奇十郎は駆けつけたのは、ちふねの意外な「予知」だった——?
※最終日には、解決が押された依頼書 ⑥が必ずです。

明治偉人隊



おかげさまでデビュー2周年!

ミュージカル「明治村物語」

令和改元とともにデビューした「明治偉人隊」も、皆様のご支援・ご声援に支えられ、おかげさまで5月に2周年を迎えるのを記念して、明治偉人隊史上最大級のミュージカルステージショーを披露します!お楽しみに!

開催日 5/1(土)~5/5(水・祝) 会場 呉服座

偉人物語・明治偉人隊公演
偉人自らが人生をドラマチックに語る一人芝居や、歌と華麗な踊りの偉人隊屋外公演をお楽しみください。

偉人ガイド
偉人自らがゆかりのある建物をご案内します。

予約受付中!

※出演者は開催日により異なります。
※入場制限をすることがございます。

スケジュールなど詳しくは、明治偉人隊公式 SNS をご覧ください。



前作映画からこの春公開の最新映画までのパネル展、映画衣装展示など映画「るろうに剣心」の見どころ満載のイベントを開催!一部期間には、あの「逆刃刀」も展示決定!

期間 3/13(土)~6/27(日)

逆刃刀公開期間: 3/20(土・祝)~4/11(日)

会場 千早赤阪小学校講堂 料金 無料 ※入村料別途必要

映画情報 The Final 4/23(金)公開 / The Beginning 6/4(金)公開

©和月伸宏 / 集英社

©2020映画「るろうに剣心 最終章 The Final/The Beginning」製作委員会

きもので歩く明治村 4/1(木)~4/30(金)

春の花咲く明治村をきもので散歩して、自分だけの写真を撮ろう!

期間中、きものでご来村いただくと入村料が半額に! ※浴衣・甚平・作務衣は対象外です。

犬山日和コラボ企画 きもので明治村を楽しもう!

“きものフォトプラン”in 明治村

モデル気分でご撮影しませんか。プロカメラマンが同行しながらおススメの建物を背景に撮影します。

開催日 4/14(水)、4/24(土) ※雨天決行 参加料 おひとり様4,950円 ※入村料別途必要 ※人数制限あり

所要時間 約1時間 ※移動時間含む 参加条件 きものを着てご来村頂ける方、1グループ最大4名様まで

きものレンタルと明治村入村券のお得なセット!

お気に入りのきものを着て、春の明治村を散策しよう!

4名様以上同時にご利用いただくならお得!

期間 4/1(木)~4/30(金)

料金 4,300円 ※大人のみ設定(男性用も用意しております)(明治村入村料、きものレンタル、着付け料込み)

きものレンタル・入村券セット販売箇所 / 着物&浴衣レンタル 犬山日和(犬山市犬山東古券195) ※明治村でのお取り扱いはございません。ご予約・お申込み・お問合せ 着物&浴衣レンタル 犬山日和 TEL:0568-61-2532

四季折々の明治村

日本古来の五節供を感じよう!

端午の節供飾り

5月5日は端午の節供。鯉のぼりや菖蒲、武者人形を飾って疫を払い、健康を祈ります。

期間 4月下旬~5月中旬

会場 東松家住宅、京都市井酒造 ほか

七夕の節供飾り

7月7日は七夕の節供。短冊に願い事を書いて笹に飾ろう!

期間 6月下旬~7月7日(水)

会場 三重県尋常師範学校・蔵持小学校 ほか

観て、触れて、知る、喜び

明治体感

名鉄岩倉変電所公開

令和元年7月より実施した保存修理工事を終えて公開します。

公開日 3/18(木)より



予約受付中!

明治時代をよりわかりやすく、明治村がさらに楽しく体感できる各種予約制ガイドを受付中。

建物ガイド・イマージン(東松家住宅)、プレミアムガイド、予約制ボランティアガイド(団体のお客様対象)

【受付はこちら】 FAX:0568-67-0358 Eメール:meijimura-info@nrr.meitetsu.co.jp

事前必読制 鼎談「明治を知り、明日を知る」

3/27(土)開催!

近代建築の幕開けとなった「明治」という時代を振り返るとともに、これからの博物館のあり方について、ゲストを迎え語ります。

時間 13:30~
会場 呉服座



阿川 佐和子氏 (明治村村長) 撮影:伊木 功



中川 武氏 (明治村館長)

舞踊劇「浦島マーメイド」

日本舞踊西川流格師範・西川カーク氏の脚本・演出による完全新作の舞踊劇を上演。重要文化財にも登録される芝居小屋で、新感覚舞踊劇をお楽しみください。

開催日 6/13(日)~7/4(日)の毎週日曜日

時間 ①12:00~ ②14:30~ (各回40分)

会場 呉服座

脚本・演出 西川カーク(西川流格師範)

※イベント開催日および、前日は呉服座の建物ガイドを終日中止します。

明治村学芸員の小部屋OPEN!

明治村の学芸員による定期展示コーナーを開設!

期間 5/15(土)~定期開催



ハイカラな衣装でタイムトリップ!

明治時代風の矢絣・袴姿に着替えて明治への時間旅行を堪能しよう。

受付 明治体感処 ハイカラ衣装館(安田銀行会津支店)

記念撮影コース

料金 1回800円 (5分間・時間延長不可)

散策撮影コースも好評受付中! ※雨天中止

料金 3,500円

※サイズ・数量に限りがあります。

明治村ウェディング・アニバーサリーフォトデスクのご案内

博物館明治村ならではの「本物」の歴史的建造物を舞台にした華式・披露宴やフォトウェディング、成人式、七五三でのアニバーサリー撮影の会場としてご提案いたします。



事前予約制 2021フォトウェディング相談会

開催日 5/23(日)

相談会 DE エンゲージメントフォトも同時開催!

開催等の詳細および、お問合せ・ご予約 明治村ウェディング・アニバーサリーフォトデスク TEL:0120-108-716

A La Meiji-mura

明治村二丁目にある清水医院、東松家住宅、京都市中井酒造に、算盤が展示されているのを「ご存じでしょうか?」これらの算盤を見てみると、現在私たちに馴染みある算盤の形と少し違っていることに気がつきます。現在主に使用されている算盤は「五玉が四つ」のものですが、上記の建物に展示されている明治期に使用されていた算盤は、この「五玉が五つ」となっているのです(写真①②③)。

①. このような算盤のことを、「五つ玉算盤」といいます。今回は、この算盤に注目して、現代の形になるまでの変遷をたどってみましょう。

日本に算盤が伝わったのは十六世紀頃。貿易の相手国であった中国から流入しました。この当時の算盤は、一玉が五つ、五玉が二つのものが主流でした。これは当時の中国の度量衡が一斤(約五〇〇グラム)＝十六両というように、十六進数での計算だったため、中国との貿易(日明貿易)に一桁に



写真1 四つ玉算盤

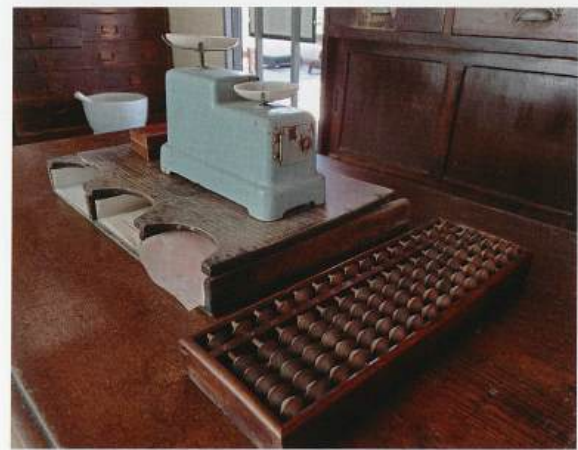


写真2① 清水医院の算盤



写真2② 東松家住宅の算盤



写真2③ 京都市中井酒造の算盤

十五まで置ける算盤が必要だったためと考えられています。この後、貿易以外の場で常用するには不要であった玉を取り除いて、上記のような五つ玉算盤が生まれたよう



五つ玉から四つ玉へ —算盤にみる近代化—

2丁目 清水医院、東松家住宅、京都市中井酒造

算盤は日常生活に必要な能力として江戸時代には寺子屋で、明治に入ると学校でその使い方が教授されました。明治五(一八七二)年に出された「学制」の序文には次のような文面があります。「其身を修め智を開き才藝を長ずるは學にあらざるは能はず(中略)日用常行言語書算を初め士官農商百工技藝及び法律政治天文醫藥等に至る迄凡人の営むところの事學ならざるはなし」(註①)。この「日用常行言語書算」は読み書き算盤のことを指しており、身を立てる学問の一つとして算盤能力が位置付けられていることが分かります。しかしながら、この学制では小学校の算術は「洋法ヲ用フ」(註②)つまり「筆算を使うように」との指示が加えられていました。西洋式の計算法を浸透させることが目的だったと考えられますが、世間一般では算盤での計算が主流だった

たことから世論の反発を受け、翌年の文部省布達において算盤も併用するよう補足されました。その後の度重なる法令改訂で筆算の浸透が図られるなか、算盤は筆算の補助教材としての立場を確立しました。

五つ玉算盤は昭和初期に至るまで長く利用されていましたが、昭和十三(一九三八)年、大きな転機が訪れました。同年に改訂された教科書には四つ玉算盤が掲載され、教師用の教科書にも四つ玉算盤を標準とする旨が明記されたのです。五つ玉算盤は一桁に十までの数を置いて計算するのに対して、筆算で使用され、日本で常用されている数の表記方法は一桁に九までの数を置いています。この頃になると人々の間で筆算も浸透していたため、算盤と筆算の数の示し方を統一することで両者のギャップを小さくすることが求められたことが、四つ玉算盤採用の主な理由でした。この改訂を契機として、五つ玉算盤は急速にその数を減らしていったのです。教育の変遷によって道具の形が変化した一例といえるでしょう。

明治村には、現在の私たちに馴染みのある形とは少し違った形の道具がたくさん展示されています。その道具の変化の過程を想像しながら巡ってみると、また違った面白さに出会えるかもしれません。

註1 「学制」文部省(国立国会図書館デジタルコレクション) 同右

註2 同右

参考文献

峯是三郎著 一八八九年「算盤の準備法」原光二
二階源市 一九三九年「算盤の準備法」実地培風館
安藤英義 二〇一九年「簿記用語の歴史探査(一)簿記帳台記簿(2)勘定勘定科目(3)読み書き算盤」
『会計学研究』第四十五号 専修大学



ゆるやかな境界 2丁目19番地 京都市中井酒造

丸々とした杉玉、魔除けの「鍾馗」が屋根から見下ろす京町家——二丁目レンガ通りの中ほどに建つ京都市中井酒造は、山型にカーブした「むくり屋根」や低い軒に開いた「虫籠窓」、室内に続く通り土間など京都の伝統的な町家の姿を遺していますが、入口や酒屋格子の外側に設けられた格子状の垣(柵)、「駒寄せ」も町家の特徴の一つです(写真①)。

駒寄せはその語源から駒、つまり積荷を運んできた馬をつなぐための垣(柵)でしたが、住まいを守る設備でもあります。駒寄せと似た機能を持つ柵に「犬矢来」(むぎ)があります。犬矢来は「犬遣らい」であり、

近世の町家は、軒下に商品を陳列した揚げ見世などの開放的な店構えが多く、軒下は「公」にも開放されていきました。それが、18世紀後半頃から格子戸を建てこんだ閉鎖的な店構えへと急速に変化していきました。駒寄せは、こうした見世の変化と並行して出現したとされており、実際に広く普及したのは、明治期に軒下の土地が民有地とされた以降のことです。駒寄せの起源を見ると、これらの機能は軒下の空間を占有し、プライバシーを守るためにあることがよくわかります。しかし壁や塀とは違って通行人に威圧感や閉塞感を与えません。客を招き入れることが商売の繁盛につな

「犬が入るのを防ぐ」という意味なので、犬や猫の糞尿除けや雨跳ねで外壁が汚れるのを防ぐ役割があります。犬や猫だけではありません。駒寄せや犬矢来には、往來の人を建物に近づかせないようにする、道路と私有地の境界を示す「結界」としての役割もあります。外から内を見通せない格子も間に近づくば用をなしません。もちろん駒寄せは格子への接近を物理的に阻止できるわけではありませんが、心理的な効果は発揮します。そもそも町家の軒下は、「公」の街路と「私」の建物の曖昧な領域です。



写真1 京都市中井酒造の駒寄せ

がる商家にあつては重要な要素と言えます。駒寄せは格子とともに適度に遮断する、ゆるやかな境界といえるのではないのでしょうか。

こうしたゆるやかな境界は実は日本の住まいのいたるところに存在します。京都市中井酒造の隣、東松家住宅の一階にある「帳場格子」も帳場とミセの空間を区切る重要な建具です(写真②)。金銭の管理をする帳場に座ることができたのは主人か番頭で、他の者は立ち入ることはできません。高さ50センチ程度の格子は駒寄せと同じく簡単に踏み越えることができますが、帳場格子はそれを許さない結界を創出しています。物理的な機能はもたなくても、精神的な働きかけをして十分に機能を果た



写真2 東松家住宅1階ミセの帳場 机の手前にある格子が「帳場格子」

すのです。他にも透かし彫りの欄間や、真ん中に切り込みのある暖簾なども同様に空間を曖昧に仕切っています。空間を完全に断ち切らず曖昧な設備や装置で区切る、日本の文化の特徴の一端を駒寄せに見ることができるとはいえないでしょうか。

註 「犬矢来」も道路に面した表先にめぐらす柵。駒寄せと同じく竹や丸太を組み合わせ、多くは丸太を割りにして密に組み上げている。曲面形状のものを指すのが今日では一般的。

参考文献

森隆男編 二〇一九年「住まいの民俗辞典」格風舎
山本茂 二〇〇三年「京町家づくり千年の知恵」間
口三郎を生かす独自の「こしらえ」社
柳沢究 魚谷繁礼 池井健 二〇二二年「京都絶対領域
その4 犬矢来 駒寄せはじめ(京都だより)」
岡本朝明 二〇〇八年「近代京都 三事業における道
路拡充事業とその影響」(京京二〇七号)